

茗荷谷キャンパスのご案内

茗荷谷キャンパスは、中央大学の前身である英吉利法律学校の赤レンガ造り校舎をモチーフとした地上8階 地下2階建ての校舎で、本学法学部と大学院法学研究科の新たなキャンパスです。

低層階には、旧駿河台校舎と同じ尖頭アーチを取り入れており、教室は遠隔授業やハイブリッド型授業に対応した仕様、図書館や食堂は創立者が学んだイギリスのミドルテンプレートをモチーフとしたデザインで設計されました。

地下2階から1階は「学生生活エリア」、
地下1階から6階は教室・ゼミ室がメインの「スタディーエリア」、
6階から8階は「研究室エリア」で構成されています。

どなたでも見学OK



茗荷谷キャンパス 外観

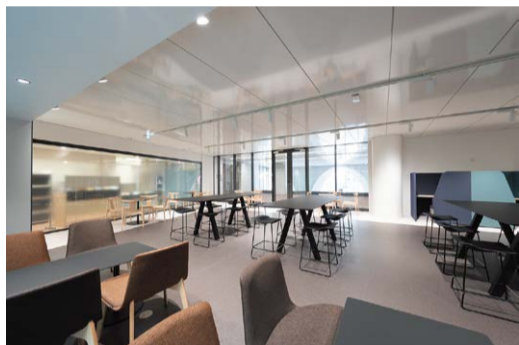
茗荷谷キャンパス自由見学 各階の見どころ

※ 地下2階と6～8階への立ち入りはご遠慮ください。

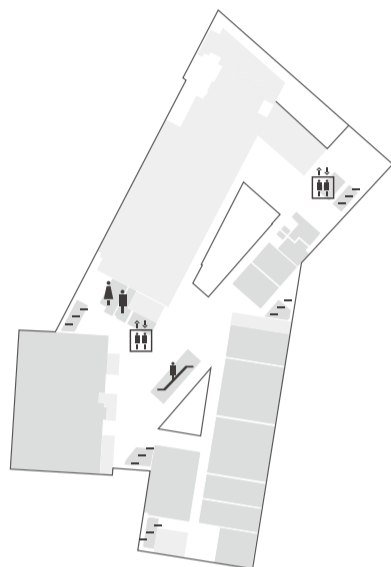
2階 大教室、中教室



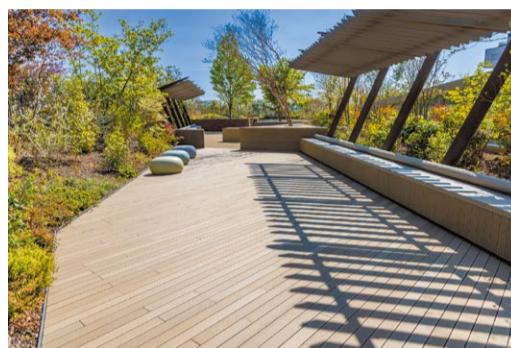
教室



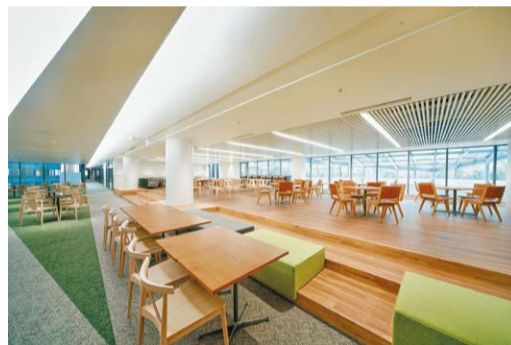
ラウンジ



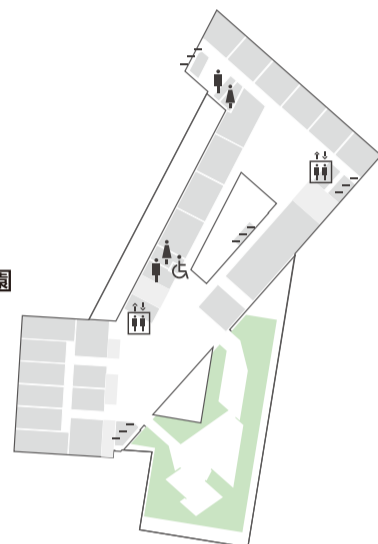
5階 小教室、ゼミ室、屋上庭園



屋上庭園



ラウンジ



1階 学修支援センター (茗荷谷学生サポートセンター) 特大教室：配信スペース

10:00～ 多摩 から 式典サテライト配信
13:00～ 駿河台 から 野村修也先生の講演



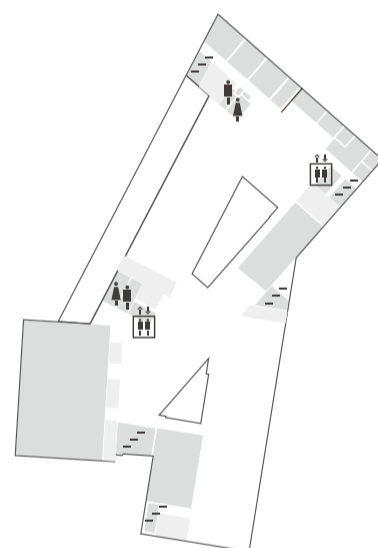
特大教室



4階 図書室、ラーニングcommons、 自習室、グループワーク室



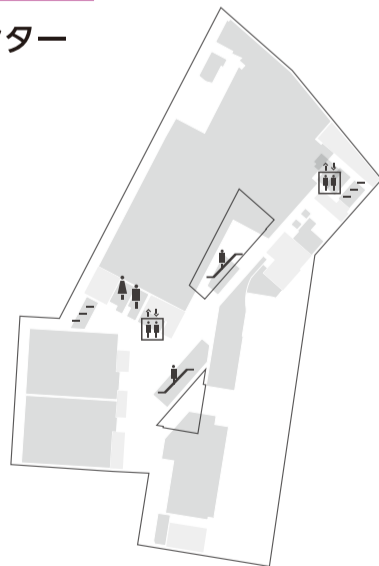
図書室 (本日はご利用いただけません)



B1階 大教室、学生食堂、購買、保健センター



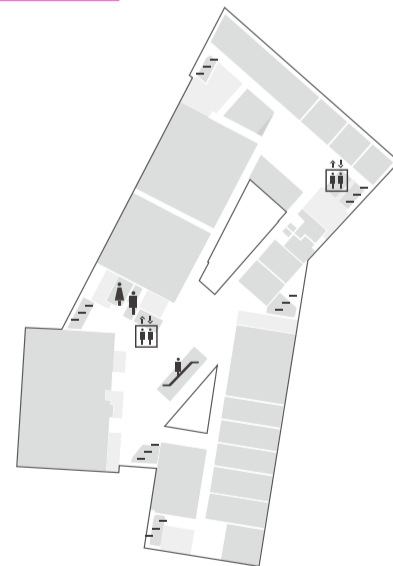
学生食堂 (本日はご利用いただけません)



3階 情報処理教室、 茗荷谷オフィス、大教室



情報処理教室



2023年4月に、東京都文京区に茗荷谷キャンパスを開設し、法学部(全学年)、大学院法学研究科は学び舎を多摩キャンパス(東京都八王子市)から茗荷谷キャンパスへと変えました。新キャンパスは東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩1分です。茗荷谷駅から徒歩1分、後楽園キャンパスに日本比較法研究所も移転。また、法曹、公務員養成機能を担ってきた炎の塔の機能も移転しました。

さらに、駿河台(御茶ノ水)に移転した中央大学法科大学院(ロースクール)とは地下鉄で3駅の距離。一貫教育の他、教員の相互授業担当により法曹養成の機能がさらに強化されました。茗荷谷を拠点とした新たなキャンパスでの一体的な学びが可能になりました。

行動する知性。

 中央大学

小石川キャンパスのご案内

どなたでも見学 OK



体育館



付属棟 2階 多目的室



小石川キャンパス 入口



小石川キャンパス 外観

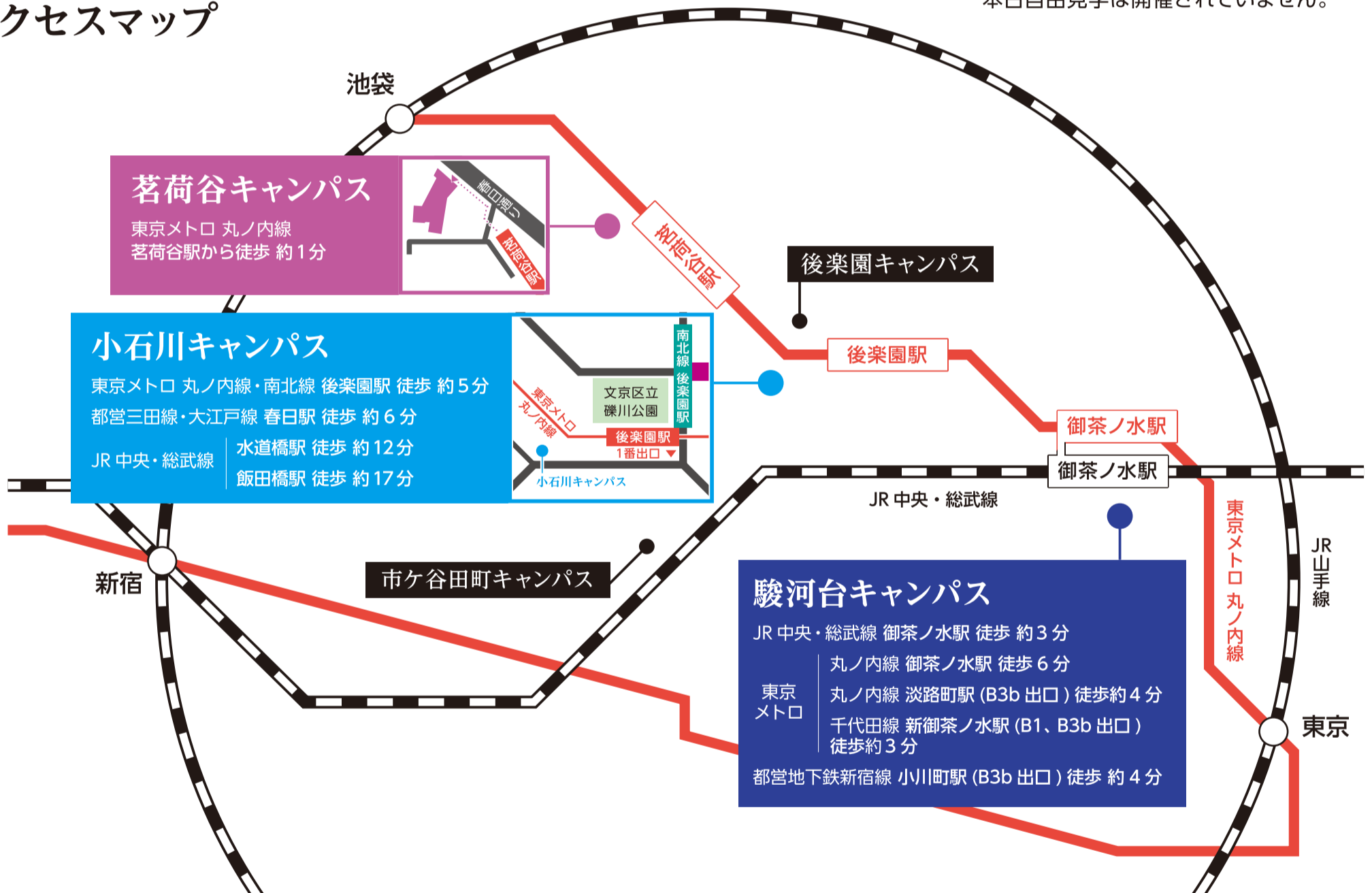
小石川キャンパスは、体育館と付属棟で構成されています。体育館の平面の広さは、公式バスケットコート1面、ミニバスケットコート2面、バレーボールコート2面、バドミントンコート4面となっており、天井の高さはバレーボールを考慮して梁下7.5mを内法で確保しています。

体育活動に即した空間として、衝突に耐える安全性と丈夫さを重視して計画いたしました。

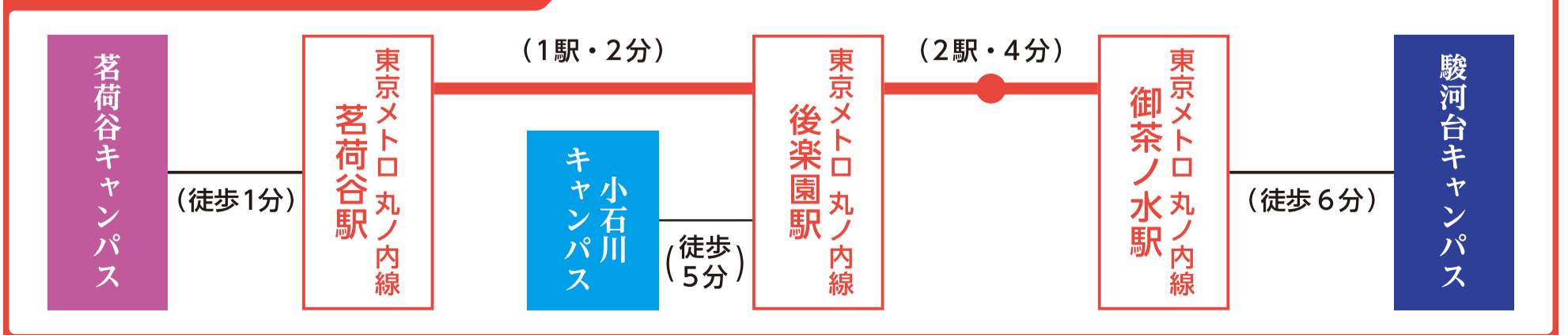
また、音の吸音に配慮して屋根面の下に吸音材を設置しています。付属棟は2階建てとなっており、体育の授業及び小石川キャンパスを管理する諸室を1階に確保したうえで、サークル室としての利用を中心に、学生交流の多目的室を設置しています。

駿河台・茗荷谷・小石川キャンパス アクセスマップ

※ 後楽園キャンパス、市ヶ谷田町キャンパスでは、本日自由見学は開催されていません。



東京メトロ 丸ノ内線 にて移動の場合



行動する知性。